

公共施設等総合管理計画(案) 市民説明会

自分たち・子どもたちの未来のために

平成28年11月 5日 (土曜) 午後3時～ 貫井北センター北町ホール
平成28年11月15日 (火曜) 午後7時～ 市民会館 (萌え木ホール)

小金井市

目次

1. 公共施設等総合管理計画とは

2. 小金井市の公共施設等の概要

3. 公共施設等総合管理計画(案)の概要

目次

1. 公共施設等総合管理計画とは

2. 小金井市の公共施設等の概要

3. 公共施設等総合管理計画(案)の概要

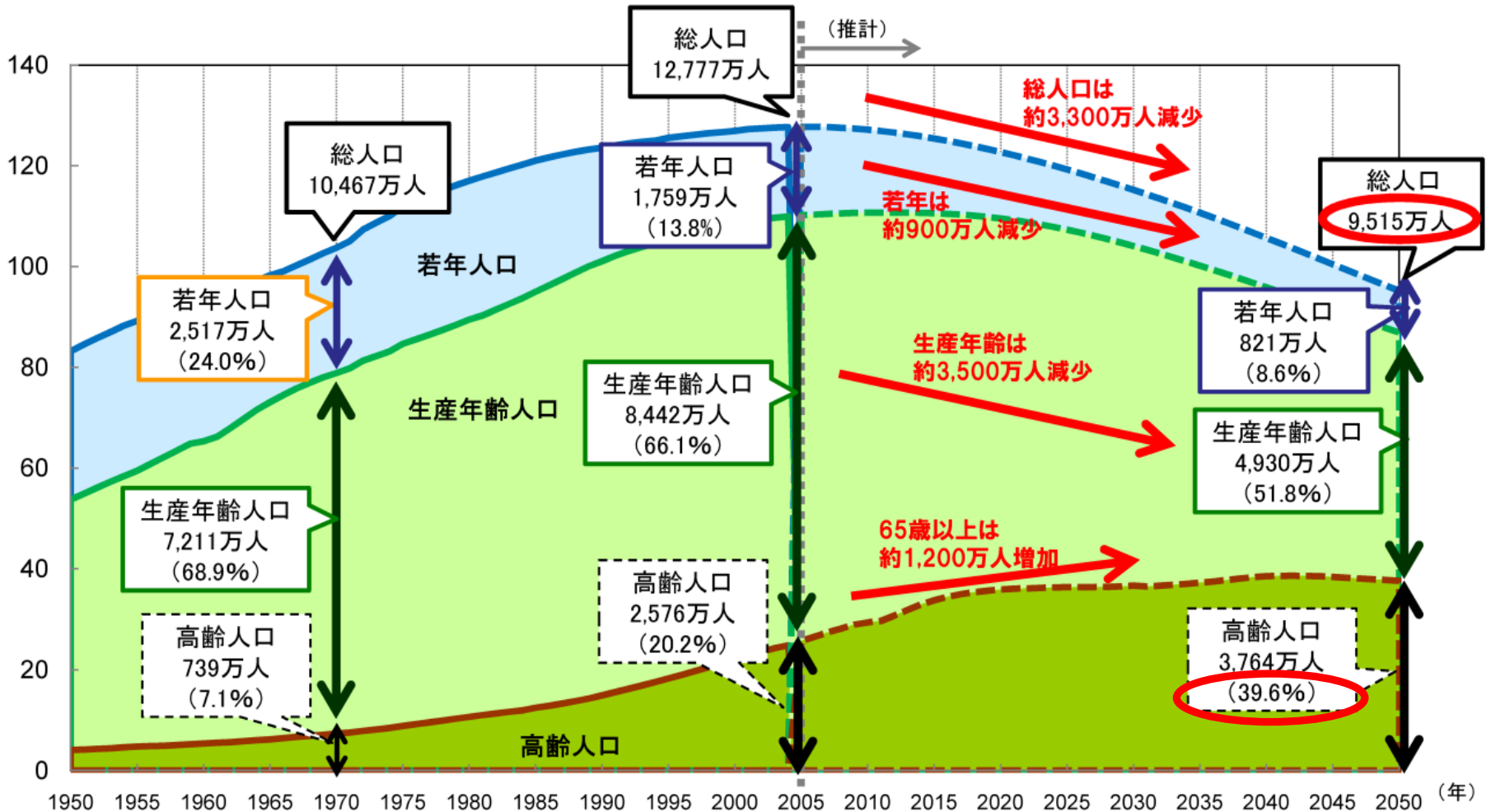
公共施設等総合管理計画とは？

直面する少子高齢化や厳しい財政状況を踏まえつつ、
公共施設等の老朽化対策や最適な配置の見直し等を
計画的に進めるために、
その基本方針となる計画のこと



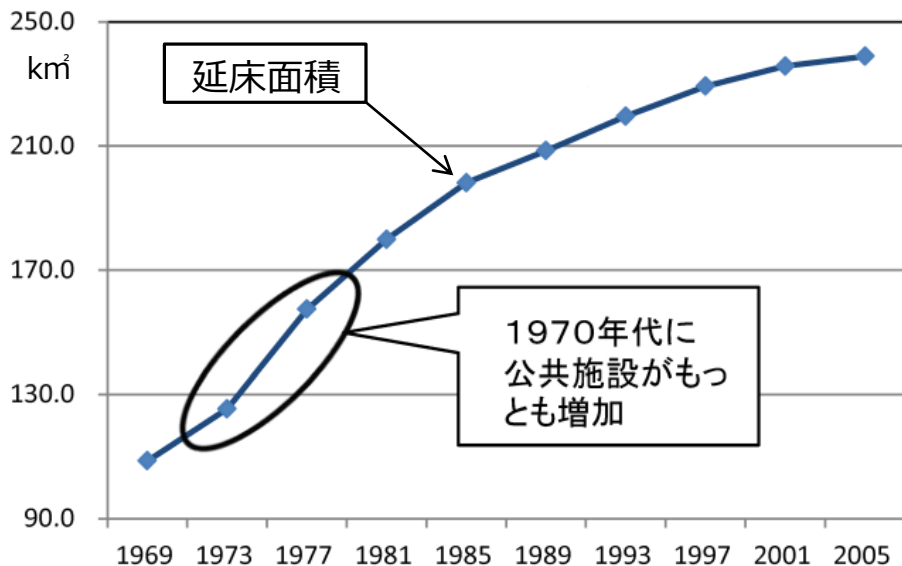
(背景)人口減少と高齢化社会の進行

日本における総人口の推移(年齢3区分別)



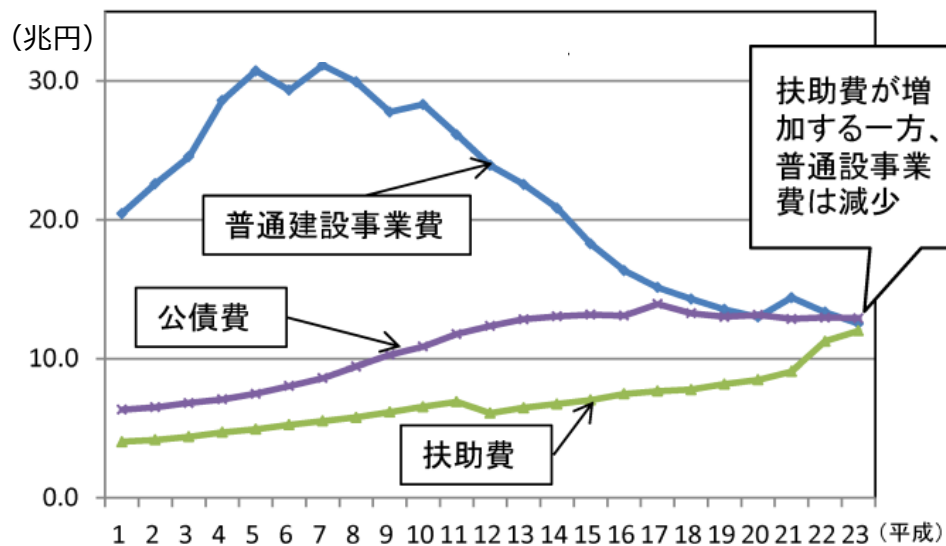
(背景)公共施設の老朽化対策の必要性

公共施設の延床面積推移(全国市町村)



【公共施設状況調査】

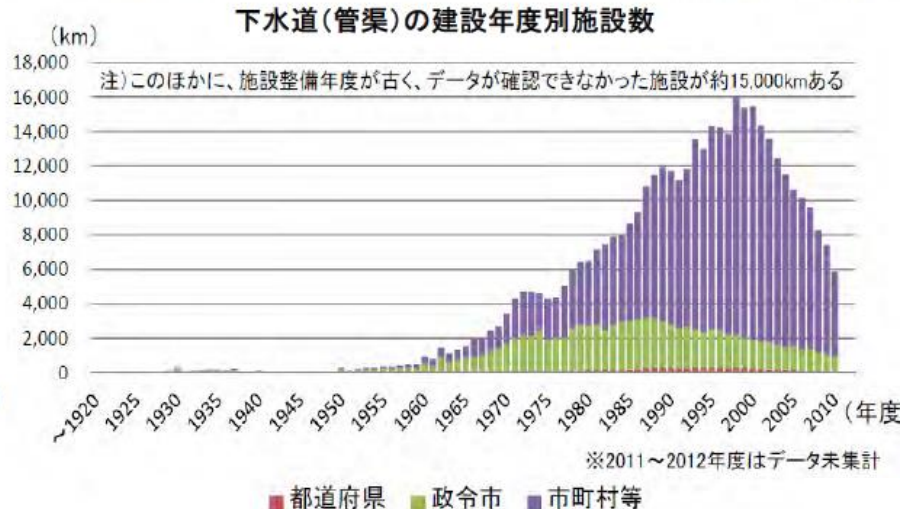
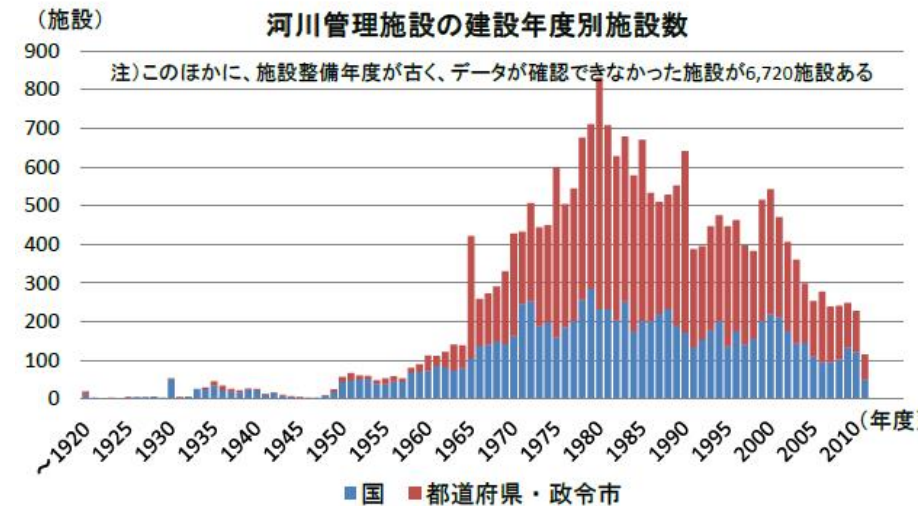
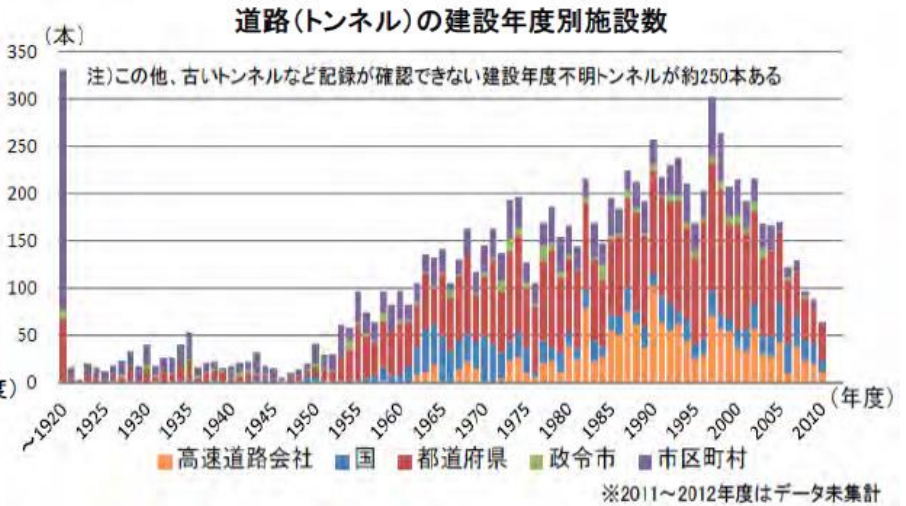
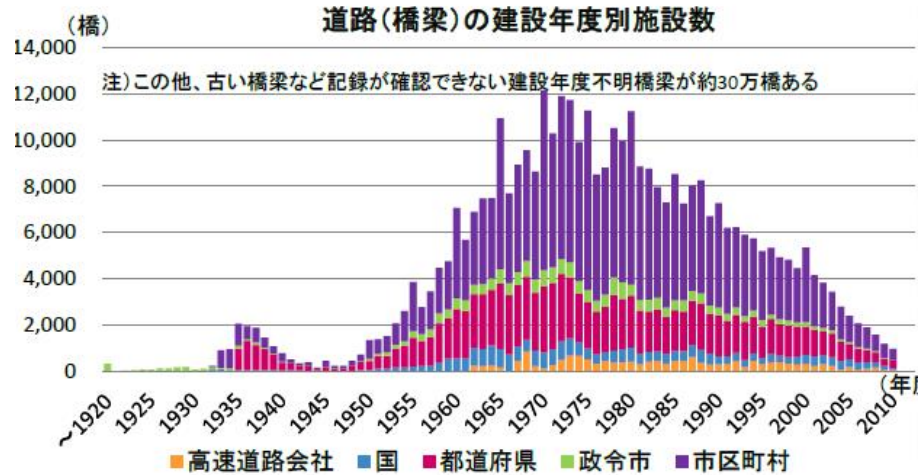
普通建設事業費等の推移



【地方財政状況調査】

(背景)公共施設の老朽化対策の必要性

道路、下水道などインフラ施設の整備状況（全国）



(背景)公共施設の老朽化対策の必要性

何も手を打たないと・・・

【九段会館天井崩落事故】
(平成23年3月11日発生)



写真: 国土交通省

【笹子トンネル天井板崩落事故】
(平成24年12月2日発生)



写真: 山梨県大月市消防本部

このような事故を二度と起こしてはいけません！！

公共施設等総合管理計画とは？

直面する少子高齢化や厳しい財政状況を踏まえつつ、
公共施設等の老朽化対策や最適な配置の見直し等を
計画的に進めるために、
その基本方針となる計画のこと

人口減少、
少子高齢化



公共施設の老朽化
厳しい財政状況

今から計画的に整備・整理していくことが必要で、公共施設を良好な状態で未来の子どもたちに引き継ぐための方向性を示すものです。



目次

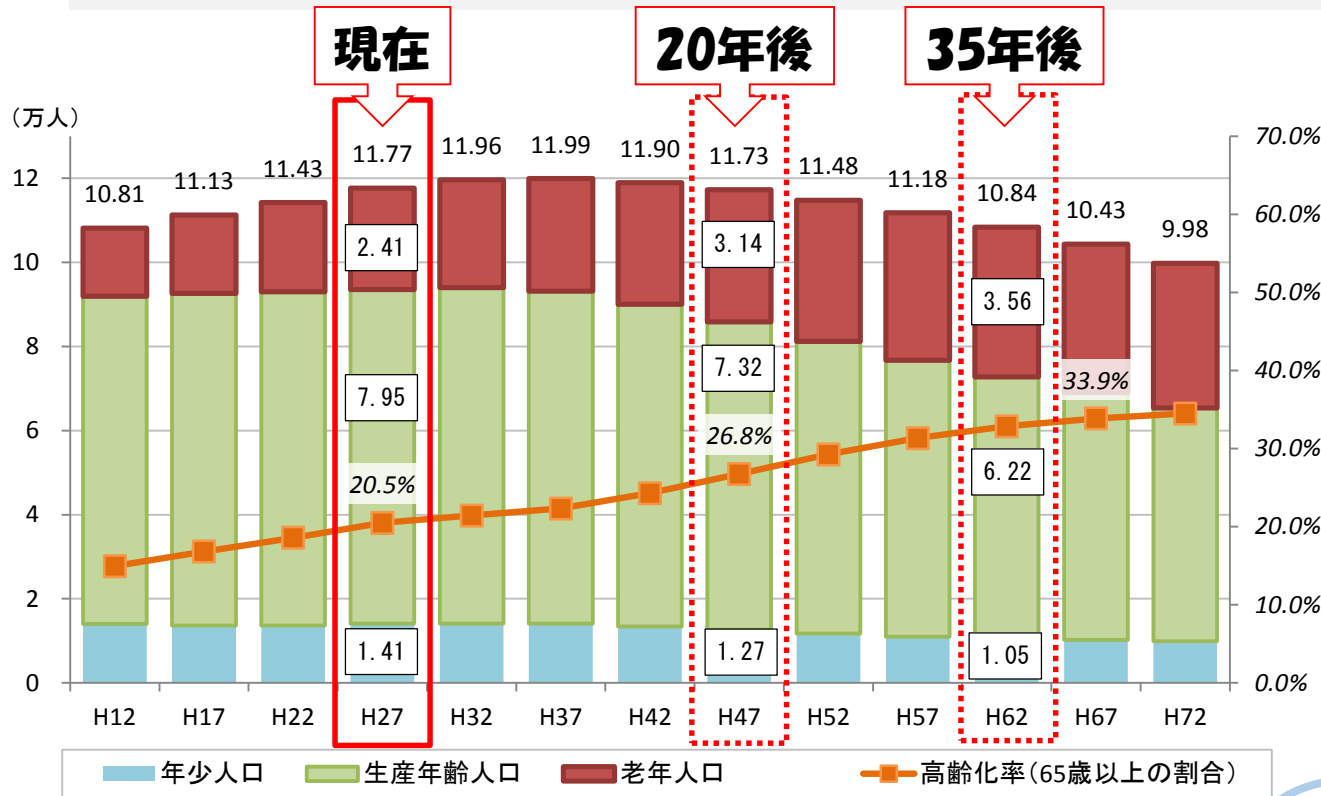
1. 公共施設等総合管理計画とは

2. 小金井市の公共施設等の概要

3. 公共施設等総合管理計画(案)の概要

小金井市の人口の見通し

人口の将来推計



< 35年後のすがた >

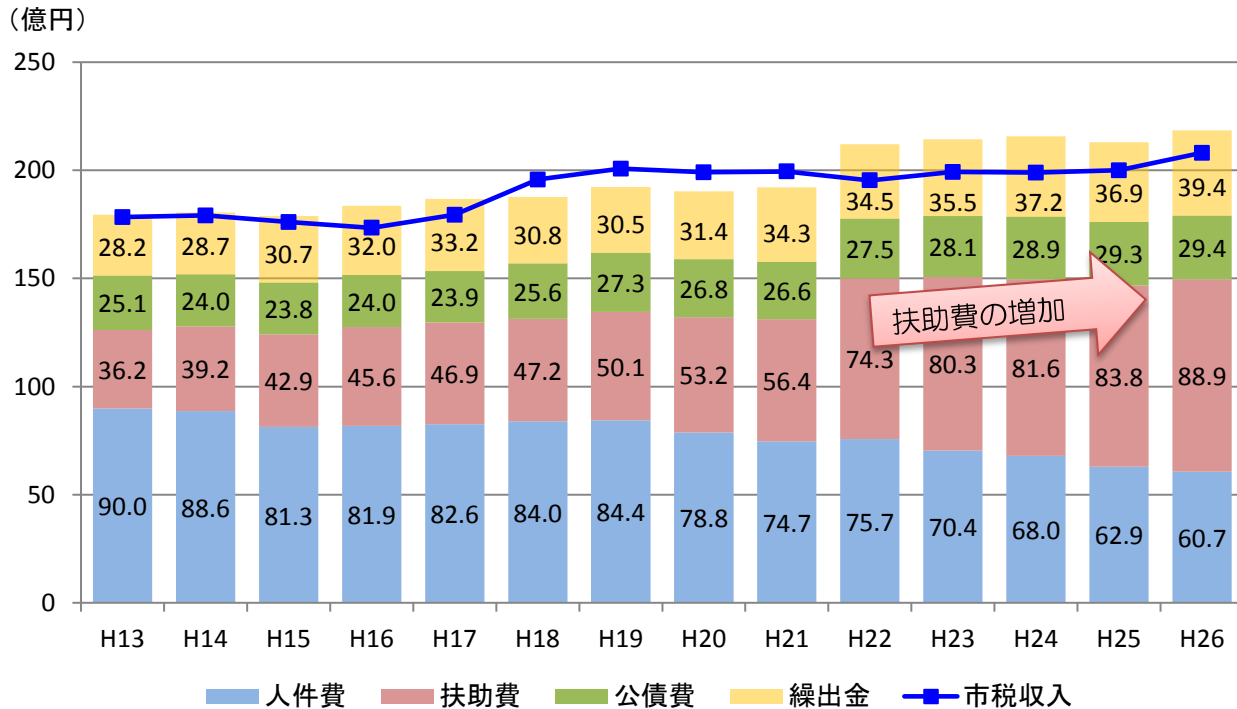
- 総人口の減少
11.77万人 → 10.84万人
(▲0.93万人、約8%減)
- 生産年齢人口
(15歳～64歳)の減少
7.95万人 → 6.22万人
(▲1.73万人、約22%減)
- 老年人口
(65歳以上)の増加
2.41万人 → 3.56万人
(+1.15万人、約50%増)



40年後には
約3人に1人が
65歳以上になるんだ!?

小金井市の財政の状況

財政(義務的経費)の状況



義務的経費（人件費、扶助費及び公債費）及び繰出金の合計が市税収入とほぼ同水準又は上回る状況となっています。

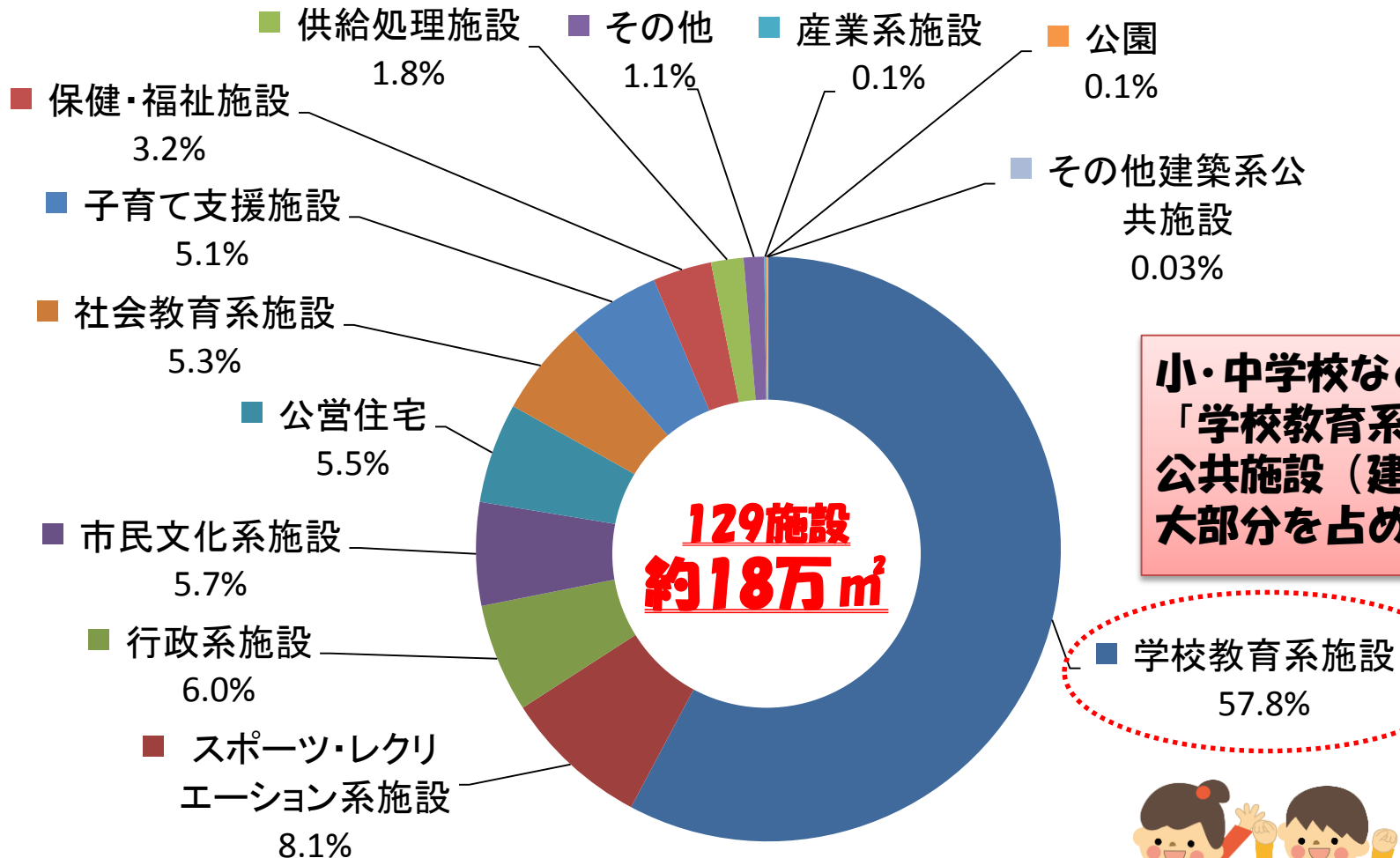
扶助費…子どもや高齢者、障がい者の支援のための費用

扶助費は、高齢化が進むと
もっと増えていくかも・・・



小金井市の公共施設等

公共施設の保有状況(建築系)

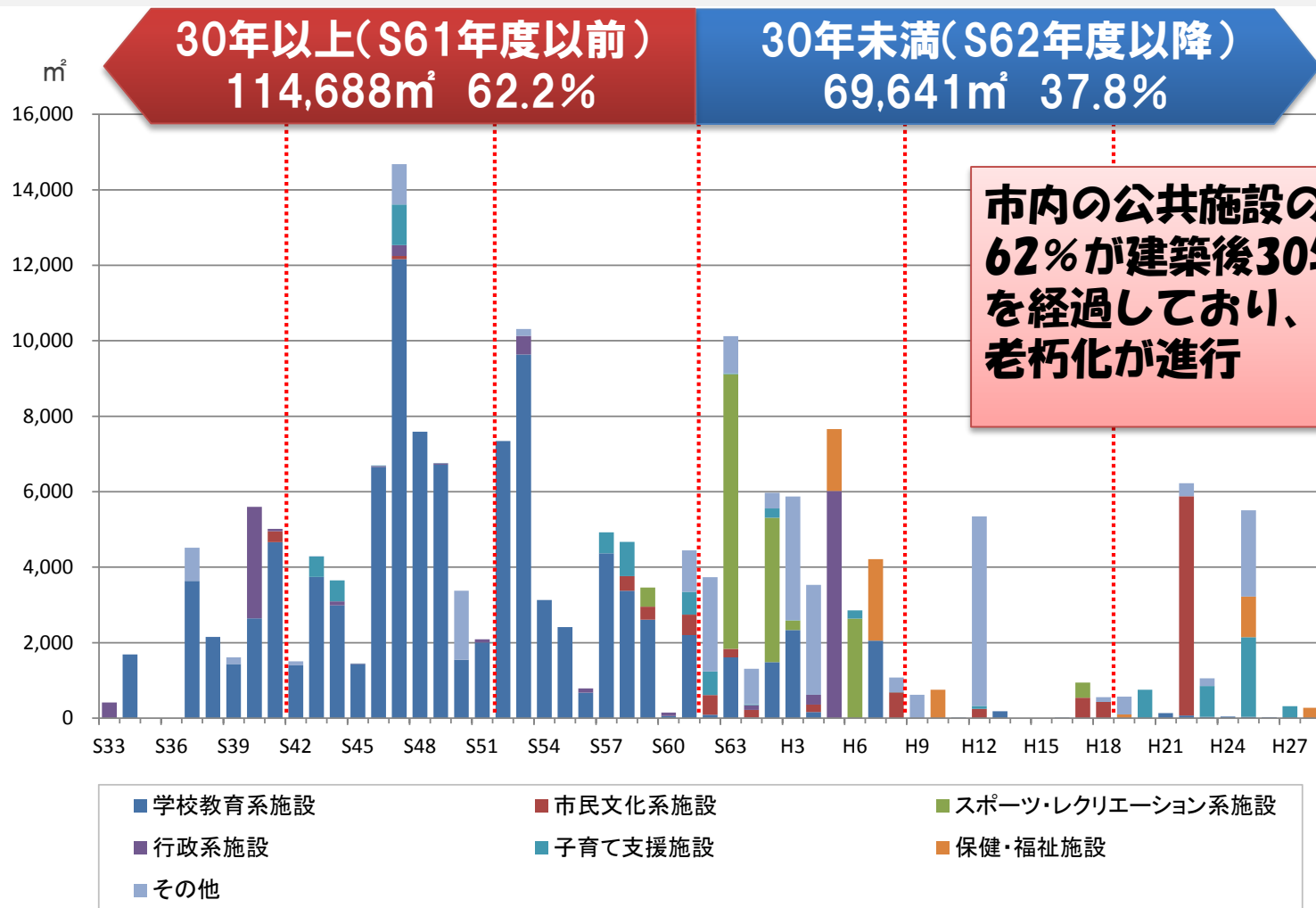


小・中学校などの「学校教育系施設」が公共施設(建築系)の大部分を占めています



公共施設(建築系)の経過年数

建築系の公共施設の整備状況



小金井市の公共施設等

公共施設の保有状況(土木系)

道路

- 総延長 約160km

橋りょう

- 橋数 72橋 総延長 約532m

公園等

- 209か所

下水道管

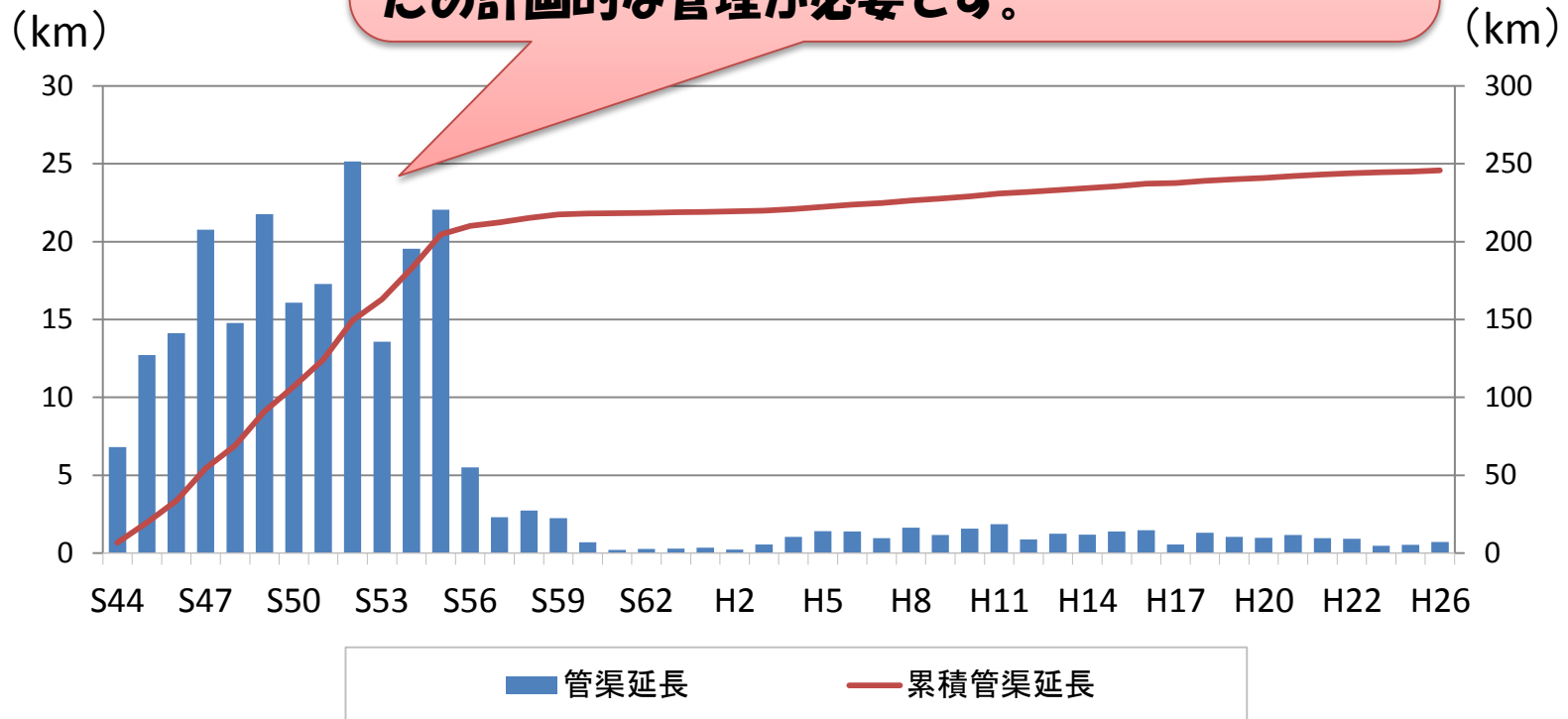
- 総延長 約245km

公共施設(土木系)の経過年数

土木系の公共施設の整備状況

下水道管で
みると…

昭和44年から昭和56年頃までの間で急速に整備が進みました。平成33年度以降、耐用年数である50年を超えはじめ、更新のピークが訪れるため計画的な管理が必要です。



小金井市の老朽化状況

清里山荘

(平成28年度修繕予定)



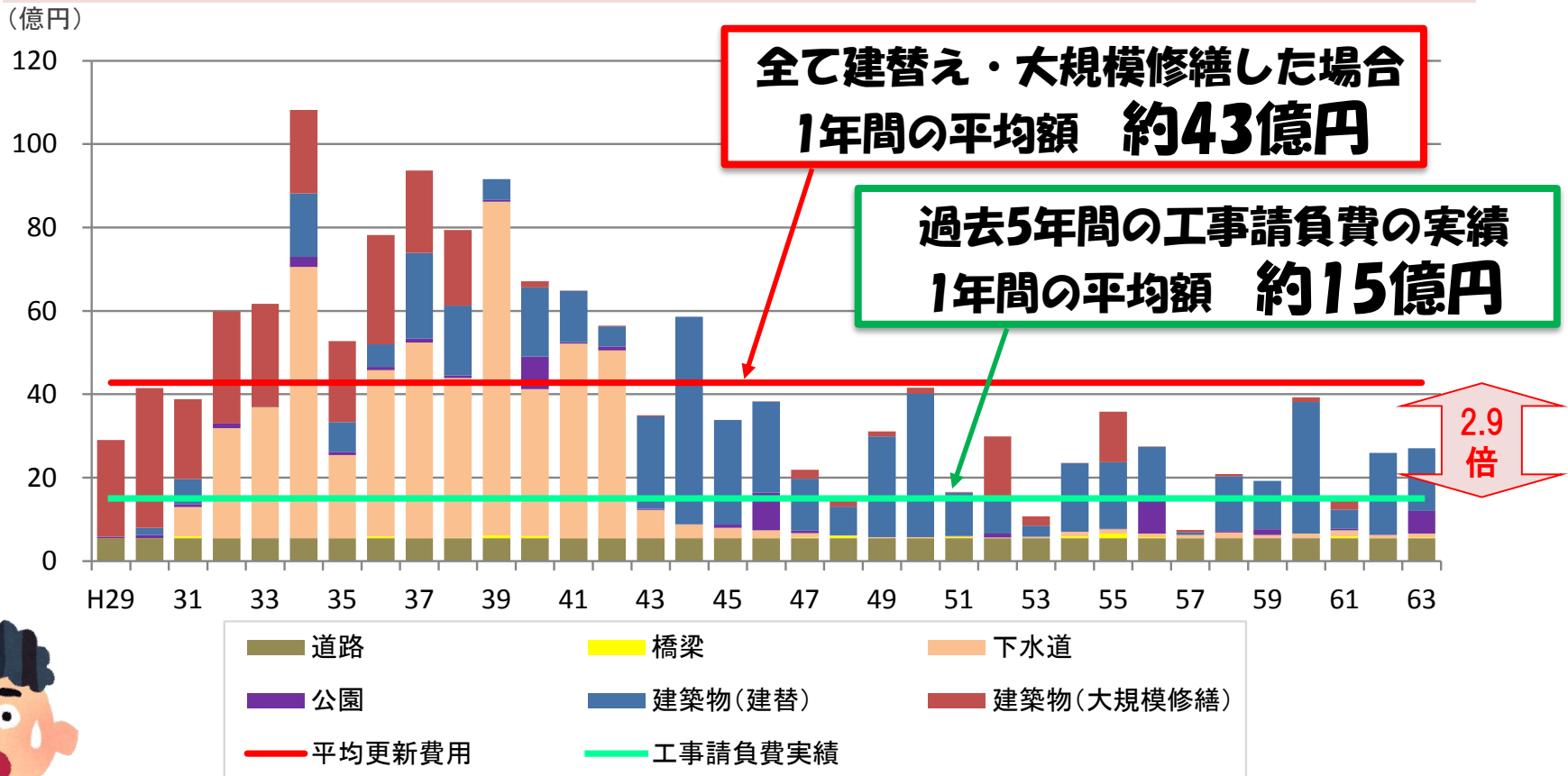
道路のポットホール

アスファルト舗装は、時間が経つと劣化していきます。劣化が進むと、このようなポットホールと呼ばれる穴ができます。

公共施設等の更新にかかる費用の見込み

更新費用の推計

35年間の更新費用総額：**1,497億円**（年平均43億円）



目次

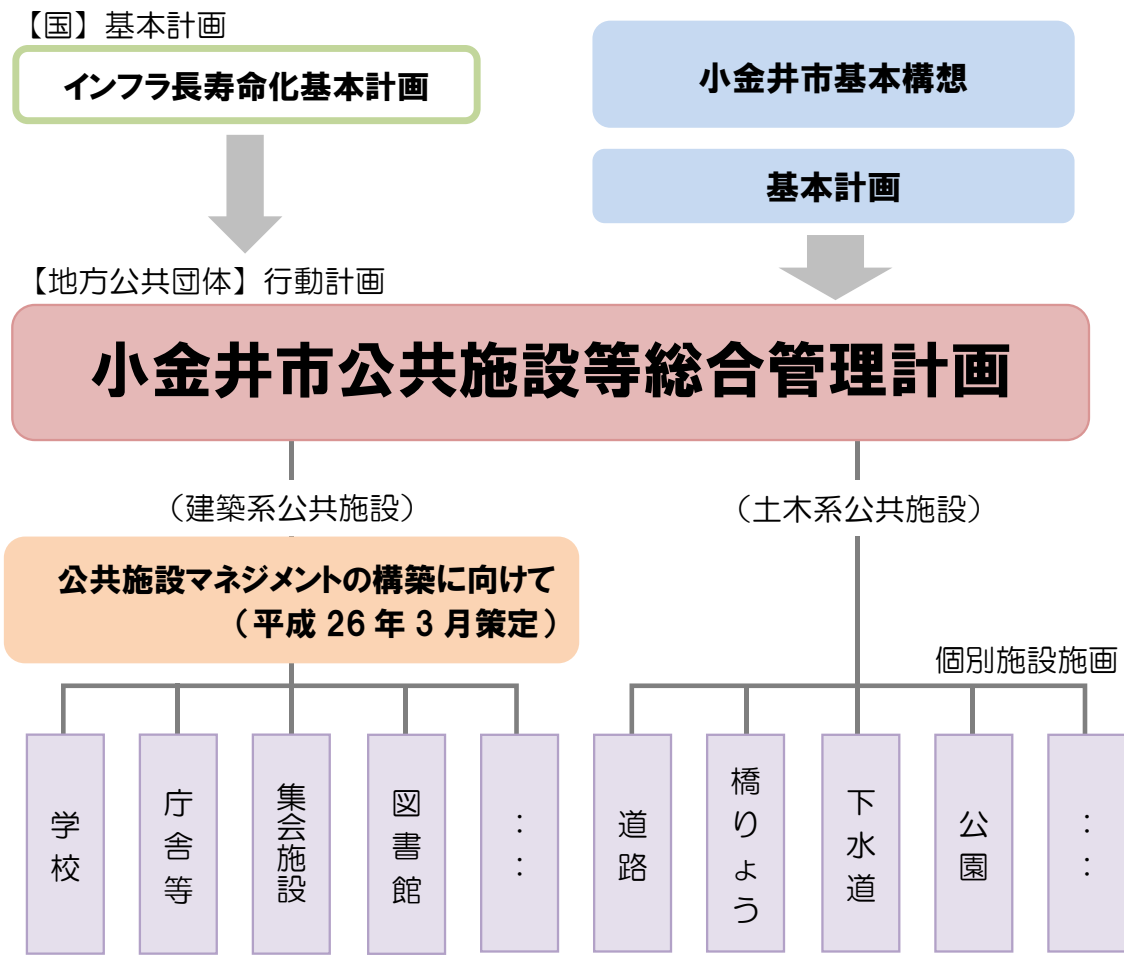
1. 公共施設等総合管理計画とは

2. 小金井市の公共施設等の概要

3. 公共施設等総合管理計画(案)の概要

計画の位置付け

計画期間：平成29(2017)年度から平成63(2051)年度まで



現状や課題に関する認識

公共施設等の維持管理・更新等に係る財源不足

- 財源の不足額は1年当たり約28億円

公共施設の利用需要と適正規模

- 総人口は今後減少傾向と見込まれ、利用需要は中長期的に低下

その他

- 施設の老朽化が顕在化
- 指定管理者制度の活用等をはじめとした官民連携の積極的な推進が必要
- 策定済みの長寿命化計画等について、確実な事業の実施と定期的な計画の見直しが必要

など

基本目標と3つの基本的な考え方

I. 基本目標

基本目標

将来の人口動向に合わせ、総量抑制に努めるとともに、将来更新費用及び維持管理費の縮減に努めます。

II. 3つの基本的な考え方

基本的な考え方1

施設の更新への対応を計画的に推進します
【計画的な施設更新】

基本的な考え方2

適切な維持管理によって安全管理を徹底します
【安全・安心の確保】

基本的な考え方3

資産の有効活用による市民サービスの向上に努めます
【市民サービスの向上】

8つの実施方針

Ⅲ. 8つの実施方針

(1)点検診断の実施方針

更新計画・安全確保・サービス改善に活用可能な公共施設等の実態把握に努めます。

(2)維持管理・修繕・更新等の実施方針

中長期的な観点から財政負担の軽減に主眼を置いた維持管理・更新を推進します。

(3)安全確保の実施方針

国等の指針を遵守し、点検診断結果を庁内横断的に活用して安全確保を徹底します。

(4)耐震化の実施方針

最新の耐震基準に的確に対応し、基本目標に基づいて計画的に耐震化を実施します。

8つの実施方針

Ⅲ. 8つの実施方針(続き)

(5)長寿命化の実施方針

中長期的な存続を図る施設については原則として長寿命化対策を実施します。

(6)統合や廃止の推進方針

施設評価を活用して意思決定の透明化を図りながら施設の最適化を図ります。

(7)総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針

庁内の一元的かつ横断的な体制を活用し、職員の知識と技能の向上を図ります。

(8)資産活用の実施方針

歳入確保策の導入、広域連携及び公民連携を積極的に推進します。

取組方針

IV. 全庁的な体制の構築と取組体制の構築、情報管理・共有方策

(1) 取組体制

公共施設等に関する情報を一元的に管理し、所管部門の垣根を越えた全庁的な視点で公共施設全体の最適化を進めるための仕組みを構築していきます。

(2) 市民との情報共有

市民アンケートやパブリックコメントを実施し、市民の皆様との情報共有を図り、公共施設等の適正な管理の実現を目指します。

(3) フォローアップ

計画策定後は進捗管理を行い、上位計画・関連計画の状況を踏まえながら、計画の見直しも適切に実施します。

施設類型ごとの基本的な方針(抜粋)

公益社団法人認定ファシリティマネジメント協会の施設類型案を参考に施設類型を整理

施設類型ごとの基本的な方針 (P. 50~105)

建築系公共施設

○学校教育系施設	P. 50~
○市民文化系施設	P. 54~
○社会教育系施設	P. 58~
○スポーツ・レクリエーション系施設	P. 65~
○産業系施設	P. 69~
○子育て支援施設	P. 71~
○保健・福祉施設	P. 76~
○行政系施設	P. 84~

○公営住宅	P. 90~
○供給処理施設	P. 94~
○その他建築系公共施設	P. 96~

土木系公共施設

○道路	P. 98
○橋りょう	P. 99
○公園	P. 100
○下水道	P. 101
その他	P. 102~

施設類型ごとの基本的な方針を定めます。
※個別の施設に関する方針ではありません。

パブリックコメントとは

「市民の提言制度」のこと。参加と協働を推進するための1つの手段

対象

市の重要な計画など

手順

- 1 計画案を公表【市】
- 2 書面等により意見を述べる。【市民】
- 3 意見に対する市の考えを公表【市】

注意

- 賛否を問うものではありません。
- 意見等に対する個別的な回答は行いません。

皆さんからのご意見をお待ちしています

募集期間：平成28年11月1日

～平成28年11月30日

